

「学問への扉」2020年度 学生アンケート結果概要

「学問への扉」学生対象アンケート

- 調査時期: 7月28日～8月31日
- 調査方法: KOANのWebアンケートシステムによる回答
 - 授業担当者から授業時に連絡していただき、
可能であれば授業中にスマートフォンなどから回答
 - 8月に学生にメールでリマインダを送信
- 対象者数 3355名
- 回答者数 2666名(回答率 79.5%)

質問項目

- 設問1: 当初希望したクラスを選んだ理由(当初抱いていた期待)について、あてはまるものを全て選んでください。
- 設問2: 「その他」を選んだ人は、その理由を具体的に記入してください。
- 設問3: (当初の期待に対して)満足度はどのようなものですか？(5件法)
- 設問4: 研究の面白さを感じられましたか？(6件法)
- 設問5: 教員は授業(宿題、課題を含む)にどのような教育方法を
取り入れていましたか？あてはまるものを全て選んでください。
- 設問6: 「その他」を選んだ人は、その理由を具体的に記入してください。
- 教員はどのように授業を行っていましたか？
 - 設問7: 教員から、取り入れた教育方法について十分に説明があった
 - 設問8: 教員は、学生の発言を促すように支援していた
 - 設問9: 教員は、学生の興味や関心を引き出すように試みていた

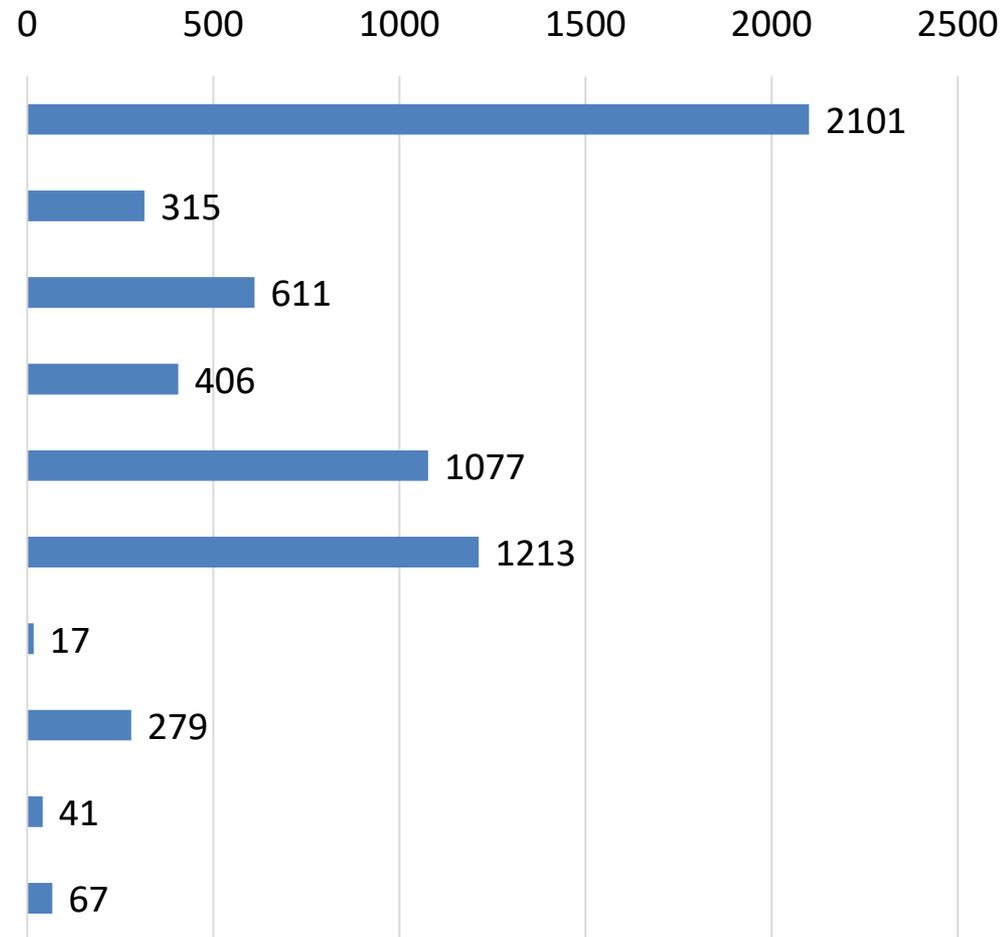
質問項目

- あなたはこの授業を受講したことで、以下の項目についてどのように感じましたか(6件法)
 - 設問10: 学問への興味が深まった
 - 設問11: 異なったものの見方を感じられた
 - 設問12: 探究心が深まった
 - 設問13: 学習意欲が高まった
 - 設問14: 学問分野における知識が身についた
 - 設問15: 先生とのコミュニケーションは十分にできた
 - 設問16: 学生同士のコミュニケーションは十分にできた
 - 設問17: 他学部の学生と交流をもてた

質問項目

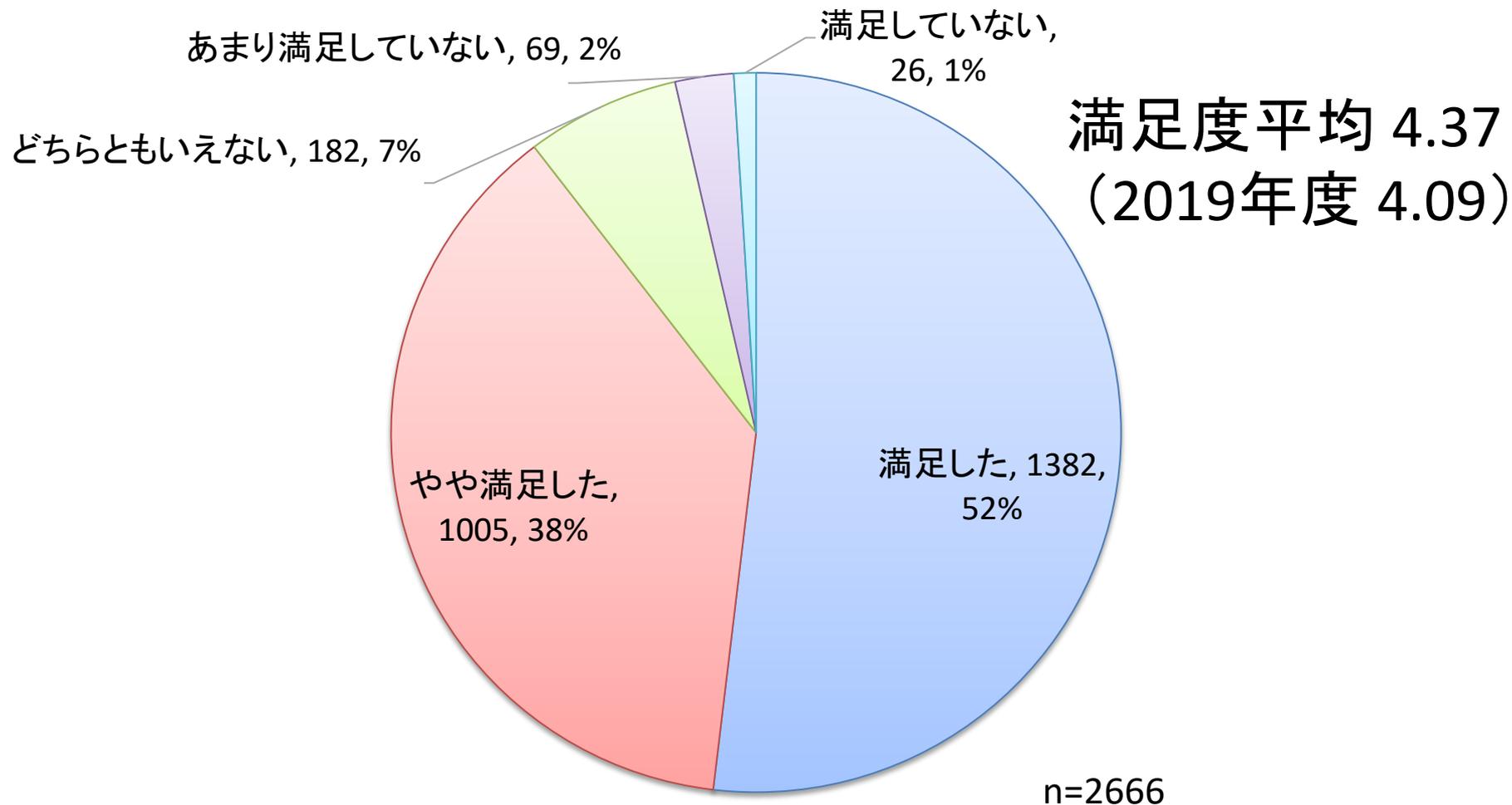
- あなたはこの授業を受講して以下の各能力がどの程度身についたと思いますか(6件法)
 - 設問18: 分析的・批判的思考力(クリティカルシンキング)
 - 設問19: 学術的な教材を読み、理解する能力
 - 設問20: 明瞭かつ効果的に書く能力
 - 設問21: 明瞭かつ効果的に話す能力
 - 設問22: リーダーシップ
 - 設問23: プレゼンテーション能力
 - 設問24: コミュニケーション能力
 - 設問25: 文化的、国際的な多様性を正しく認識する能力
 - 設問26: 問題を発見することができる能力
 - 設問27: 自由に発想することができる能力
 - 設問28: 解決の道筋を立てることができる能力
- 設問29: 「学問への扉」を受講して、良かった点、学んだ点について、自由に書いてください。
- 設問30: 「学問への扉」を受講して、改善してほしい点について、自由に書いてください。

設問1: 当初希望したクラスを選んだ理由 (当初抱いていた期待)

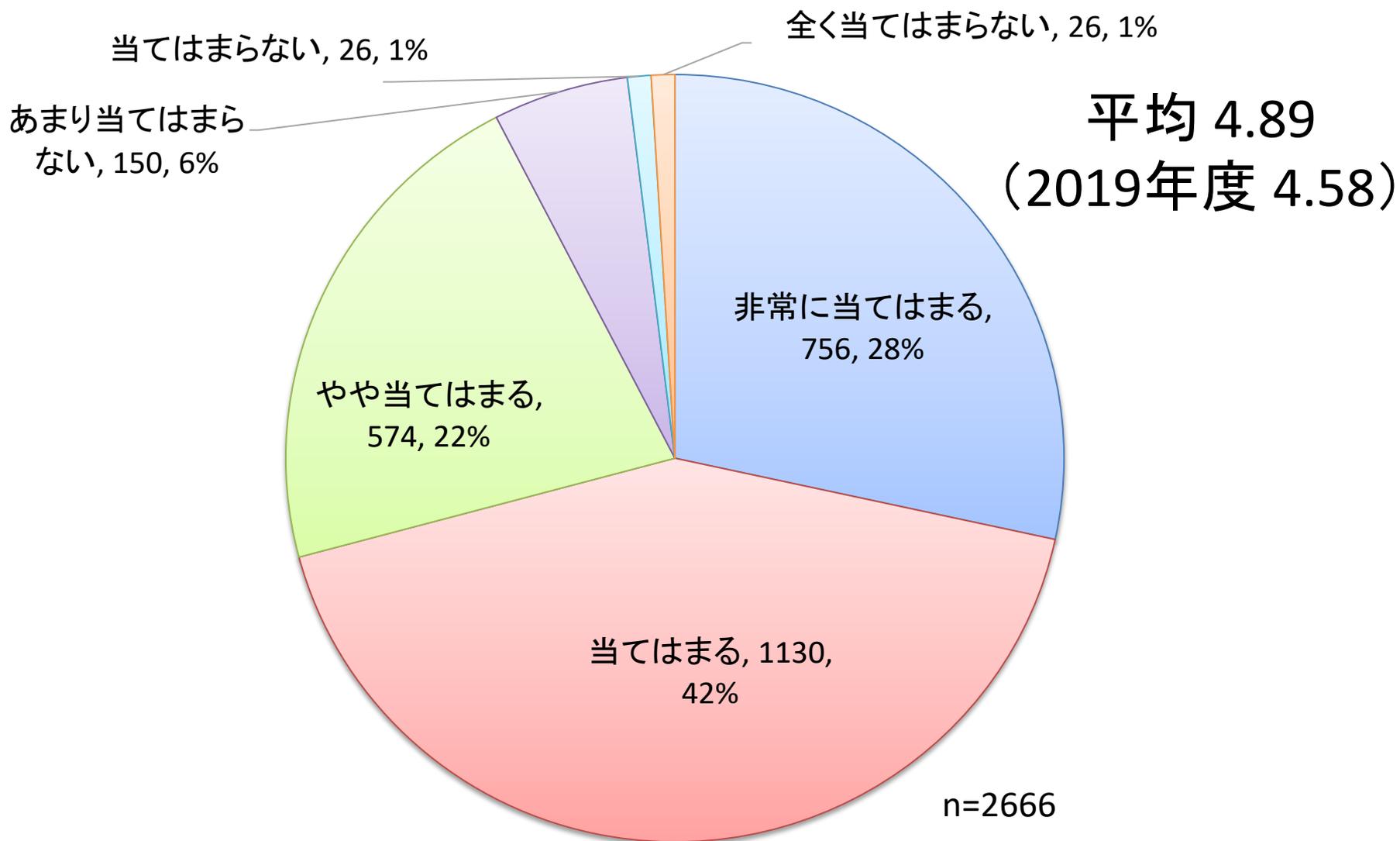


n=2666

設問3:実際に今のクラスを受講して(当初の期待に対して)満足度はどのようなものですか？

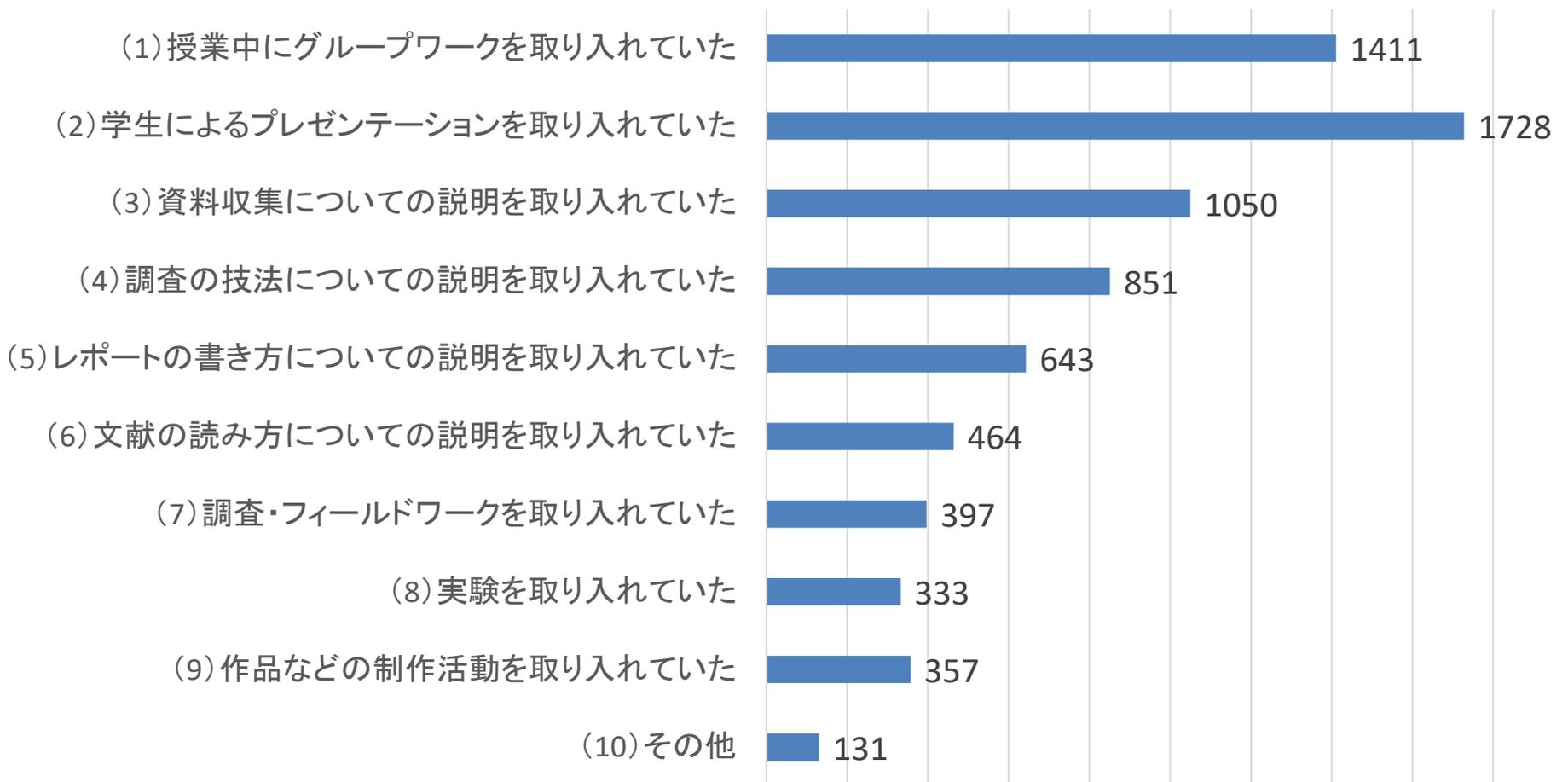


設問4: 研究の面白さを感じられた



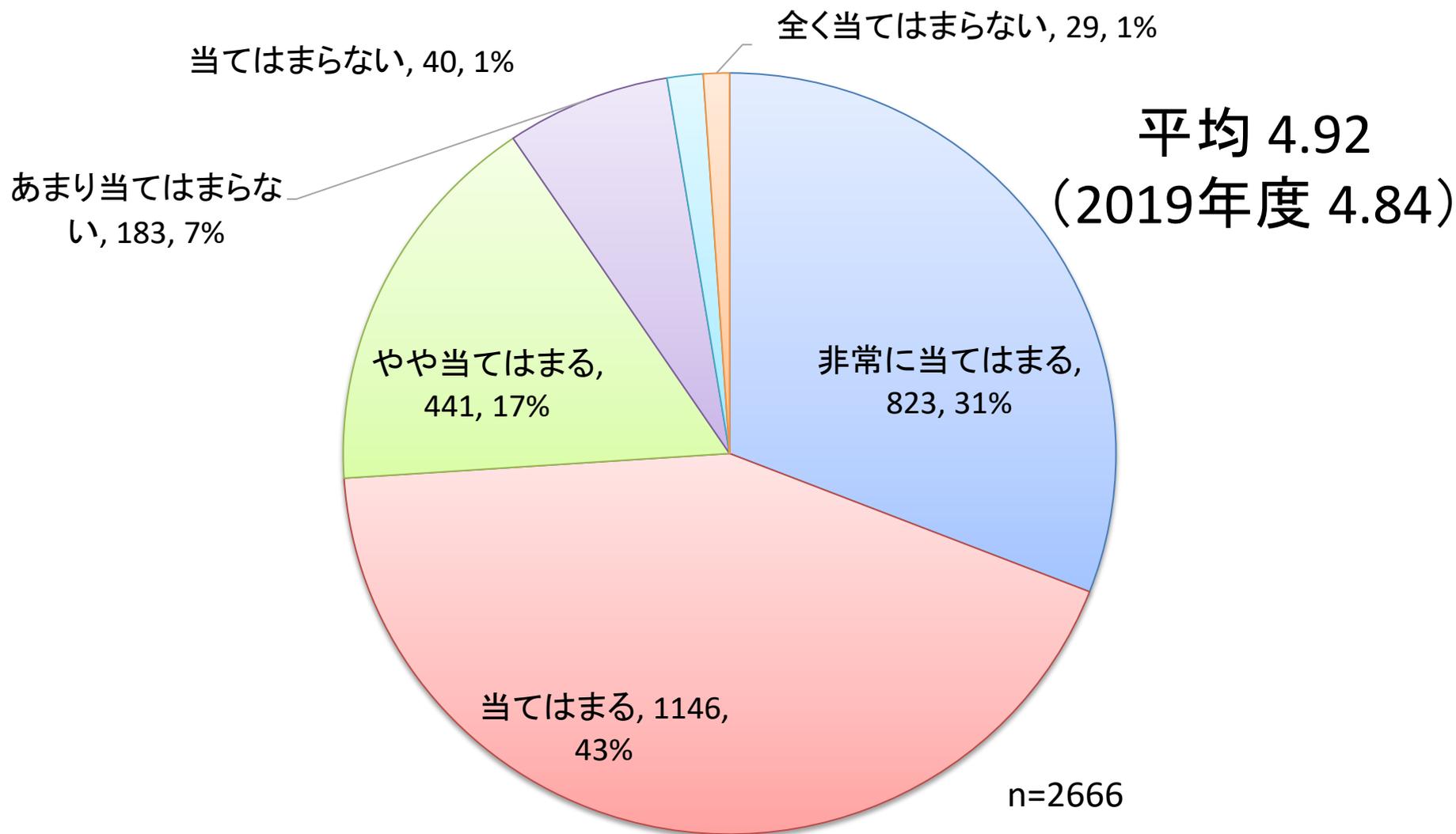
設問5: 教員は授業(宿題、課題を含む)にどのような教育方法を取り入れていましたか?

0 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 2000

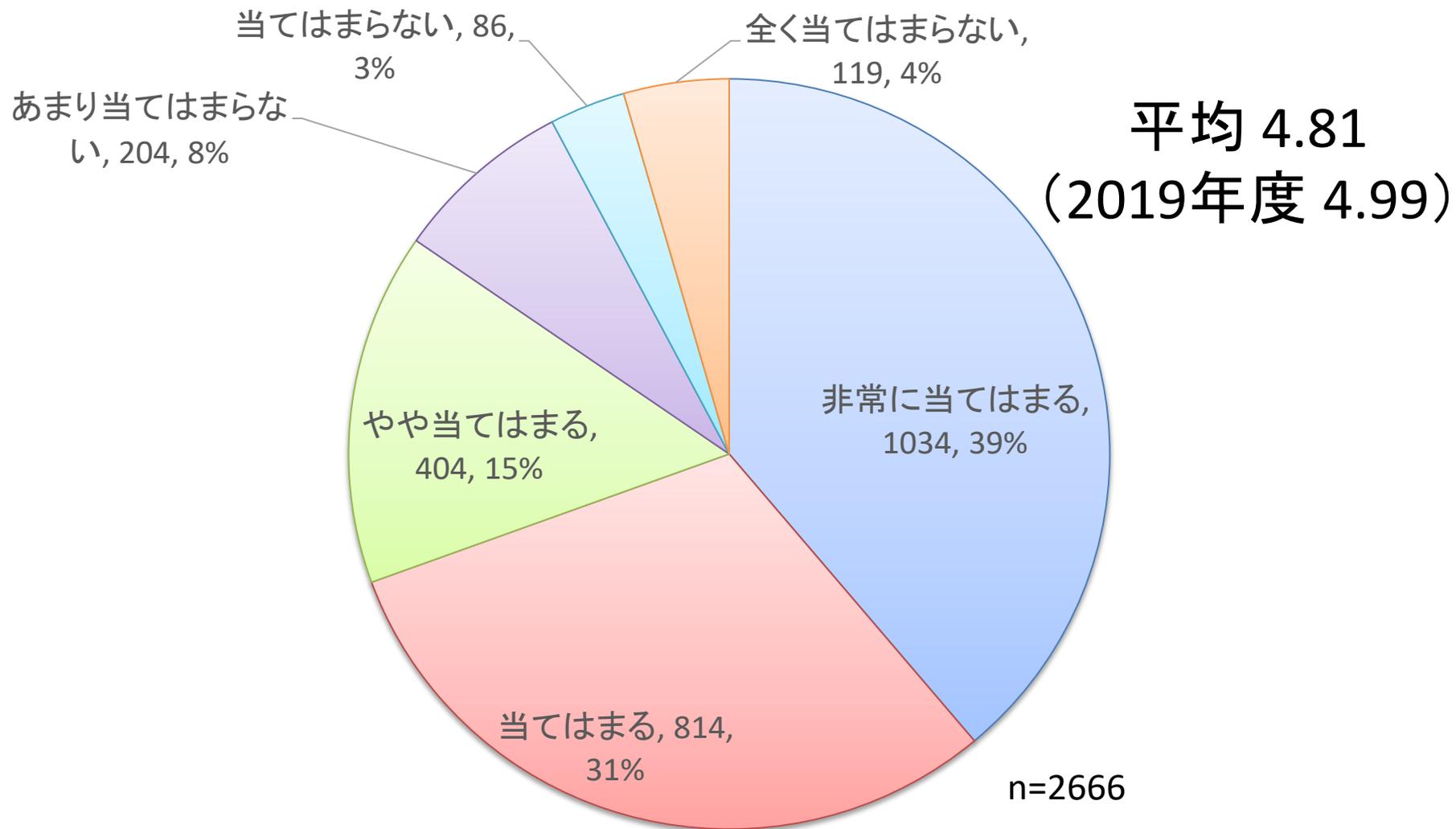


n=2666

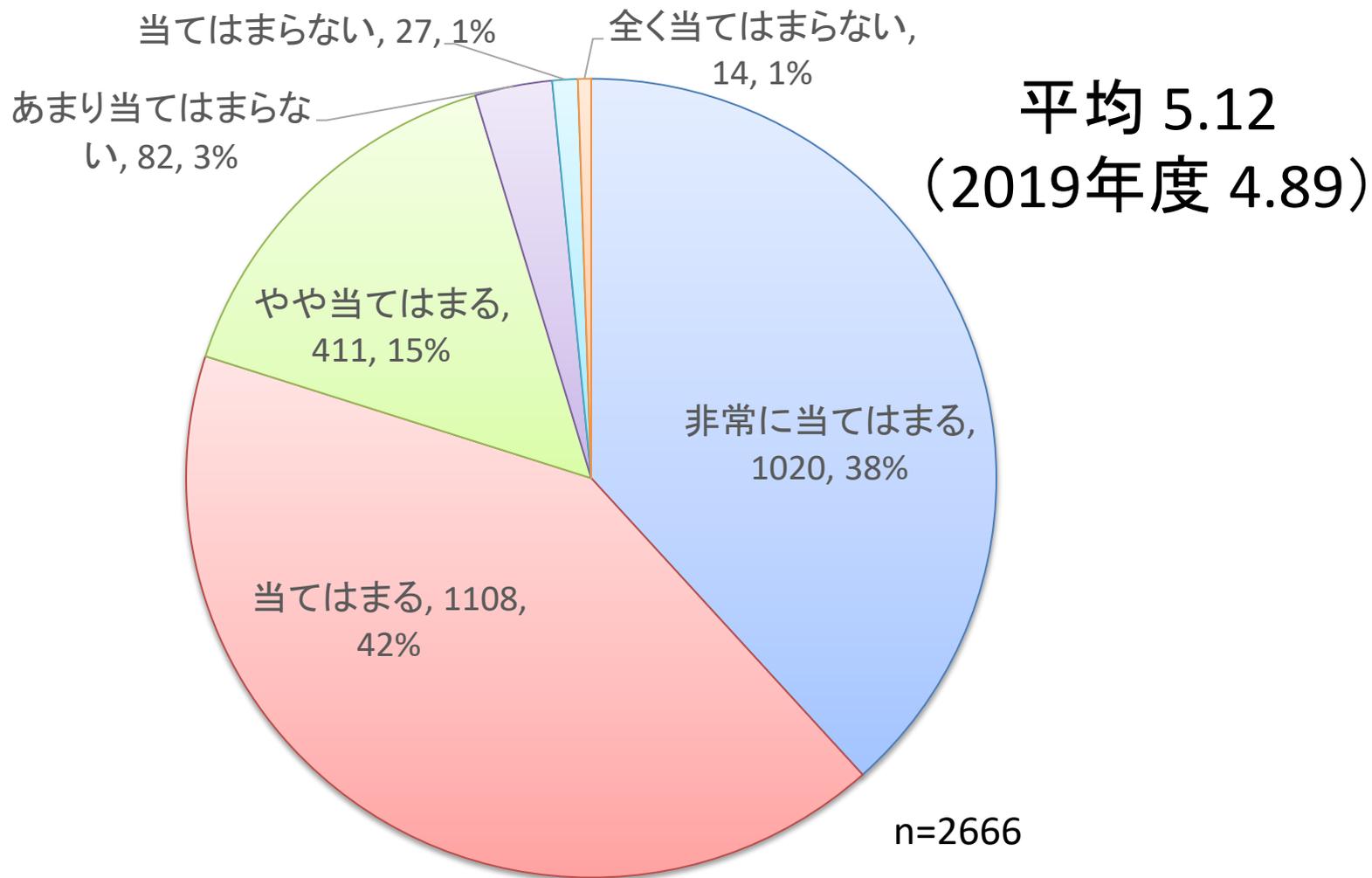
設問7: 教員から、取り入れた教育方法について十分に説明があった



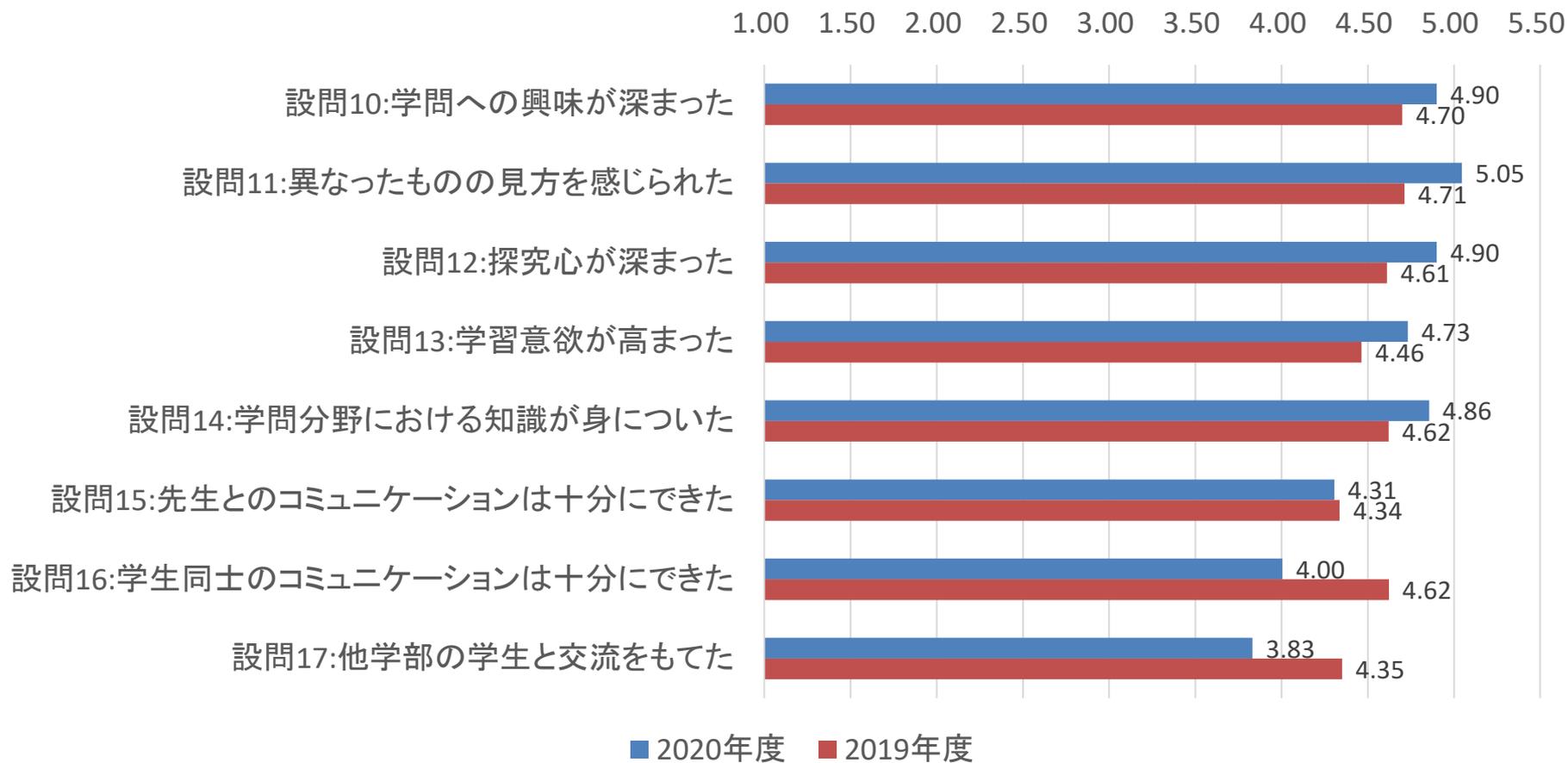
設問8: 教員は、学生の発言を 促すように支援していた



設問9: 教員は、学生の興味や関心を 引き出すように試みていた



設問10～17: 学生の意識

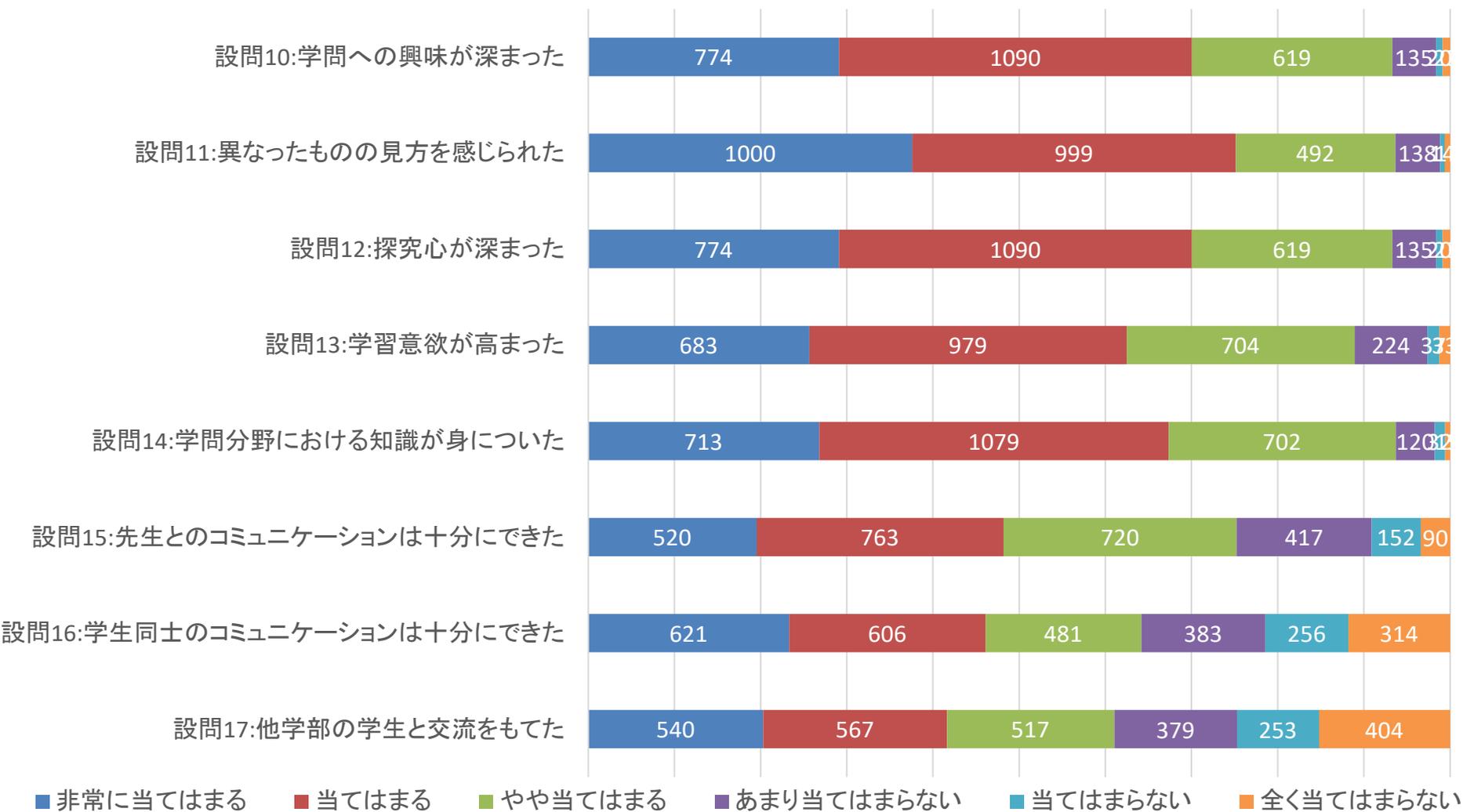


2020年度 n=2666

2019年度 n=2306

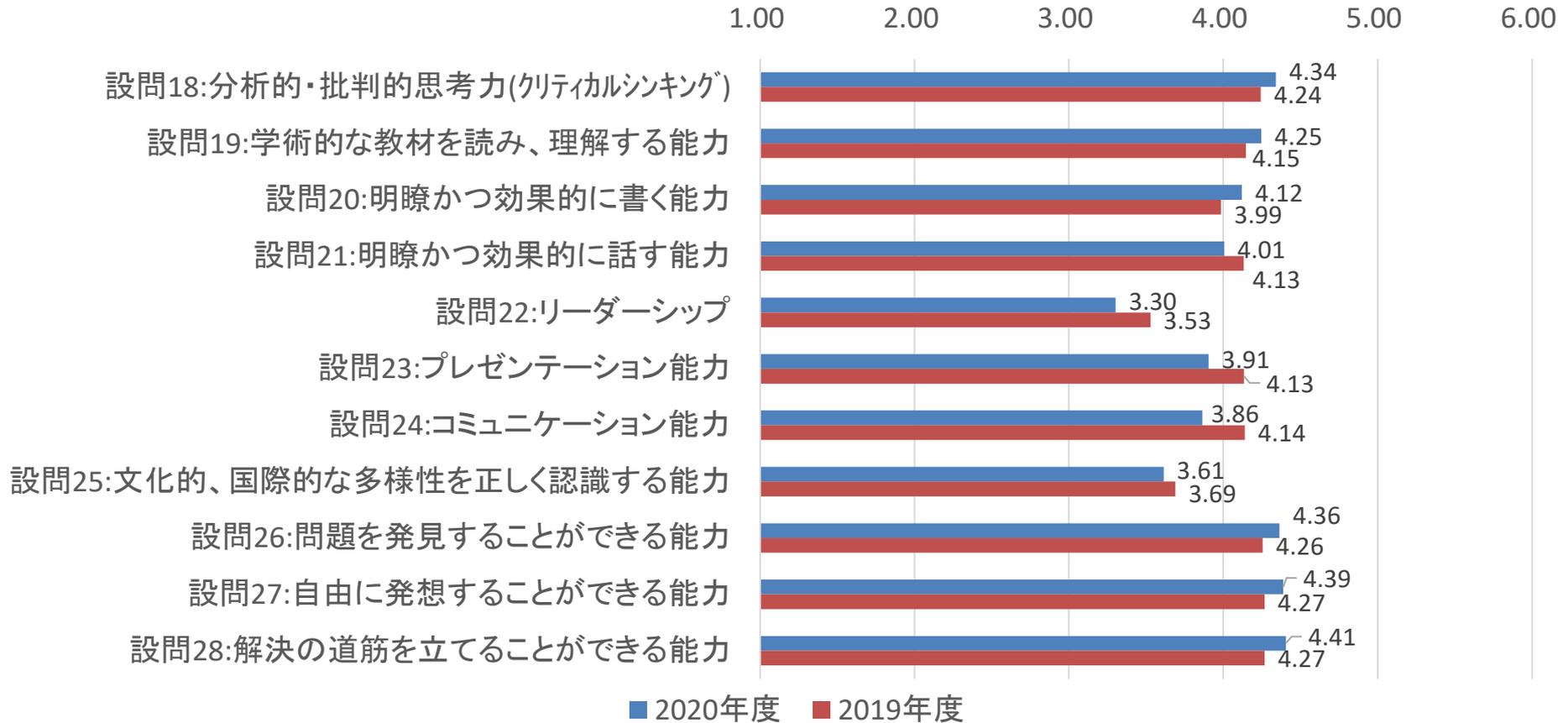
設問10～17: 学生の意識

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



n=2666

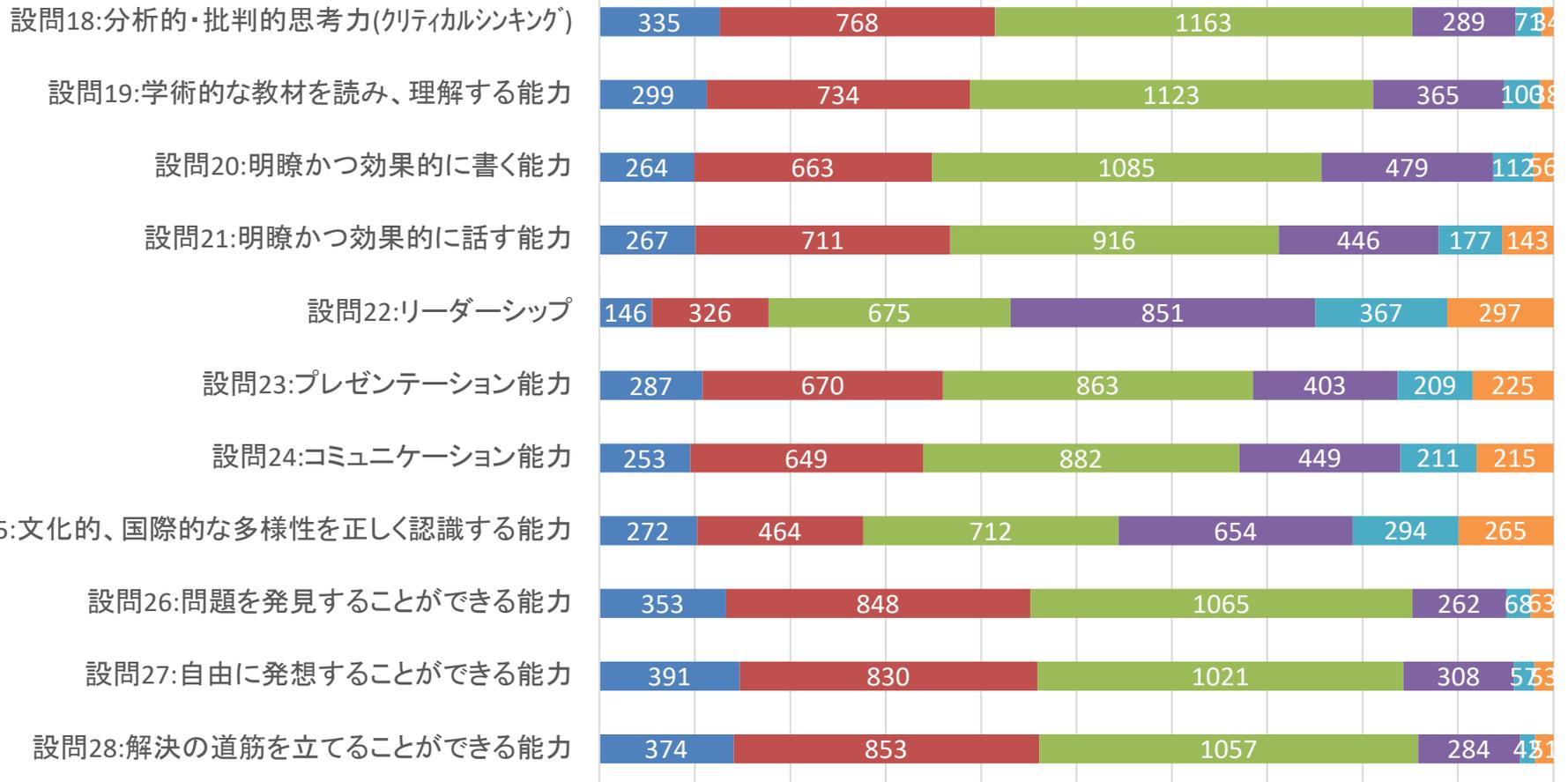
設問18～28: 学生の能力向上



2020年度 n=2666
2019年度 n=2306

設問18～28: 学生の能力向上

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 非常に身についた ■ 身についた ■ やや身についた ■ あまり身につけていない ■ 身につけていない ■ 全く身につけていない

n=2666

結果の概要

- 満足度 平均4.37(5件法)
 - 2019年度(平均4.09)より向上
- 研究の面白さ 92.4%が感じている
- 教員は、学生の興味関心の引き出しについて試みていた(学生の95%以上が実感)
- 学生は、意識や能力向上について、おおむね肯定的な回答をした

メディア授業という状況の中で
「学問への扉」における有効性について
一定の評価を得ることができた